

人権学習推進委員会研修会



12月2日(土)表彰式後に、研修会を行いました。今回は、岡山県立倉敷琴浦高等支援学校の服部功 教頭先生においでいただき、「倉敷琴浦高等支援学校の特色ある教育」についてお話を聞きました。琴浦高等支援学校は、平成22年4月に高等部のみの支援学校として開校しました。「将来の社会的・職業的な自立を目指した教育を推進することにより、生徒の自己実現と自立・社会参加を実現し、社会に貢献できる人材を育成する。」ことを目標に、職業に関する専門教科を設け教育活動を行っているそうです。地元企業からの受託作業を行い、店頭には作業した商品が並んでいるとのこと。お話を伺い、一人ひとりに応じた就労支援の教育について理解を深めることができました。

ふれあい・交流活動

文化展 11/4日～5日



ふれあい紅葉展 10/21日～22日



～ JR 児島駅から見た竜王山～

味野中学校区人権だより 第46号

発行 令和6年3月
味野中学校区人権学習推進委員会
事務局 倉敷市本荘公民館
倉敷市児島塩生 1959-3
TEL 086-475-2202

わたしのひとり言リレー



倉敷市立味野幼稚園
園長 小林幸恵

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類になって以降、例年通りの生活が少しずつ戻り、子どもたちにとって心が育まれる様々な活動を規模は縮小ながらも、実施して参りました。その中の一つとして、恒例の龍王山(竜王山)登山を秋に行いました。

子どもたちの案内人・先導として長年、俣野様に依頼しています。大変心強く、安心して龍王山に出掛けることができました。年長児・年中児が、頂上をめざし、元気いっぱい登山に挑みました。幼児の足ですから、約1時間かけて、登って行きました。昔に比べると、龍王山を大切に守ってくださっている地域の方々により、随分と道が良くなり、安全に登山ができました。それでも時折、慣れない山道を子どもたちは、足を滑らせながら一生懸命に登りました。「第一の坂、第二の坂……と、先導の俣野さんが言うたびに「もう少し」「あと少し」と、目標に近づくことの喜びを感じながら、みんな頑張りました。頂上が見えると、子どもたちの足が急に軽くなり、一気に登って行きました。頂上に到達すると、児島を見渡すことのできる絶景に喜び、「やっほー!」「おーい!」と、みんなで大きな声で叫びました。そして、頂上にある岩の周りをぐるぐると駆け回ると、不思議とみんなの元気が回復しました。(パワーストーンでしょうか)

毎年、この龍王山登山を経験すると、年長児はよりたくましくなり、年中児は、少し心が強くなるよ

うな気がします。

味野中学校区を見渡すことのできる龍王山。この登山の思い出は、幼稚園の思い出の一つとして子どもたちの心にずっと残っているのではないのでしょうか。



幼稚園では、就学前教育として、学びの基礎基盤である、非認知能力を育てています。非認知能力とは、テストの点数のように目に見えるものではありません。「自分の思いを伝えることができる。人の話をしっかりと聞くことができる。なんだろうと試したり、考えたりなど、自分なりに試行錯誤することができる。いろいろなことに興味をもち、やってみようと挑戦しようとする。友達(人)・物を大切に思う気持ち、きれいなものを見て感動するなど、心豊かで優しい気持ちをもつ。……」といった、成長する上で大切にしていきたい基本的なものです。

園児は、タケノコ堀りや龍王山登山など、様々な経験を通して、少しずつたくましさや思いやりなど身に付けています。これからもこのような体験活動を続け、心を育てていきたいと思ひます。



味野中学校区テーマ 「自分を大切に 人を大切に 明るい地域づくりを目指して」

4年ぶりの研修視察 国立療養所 長島愛生園



9月2日(土) 瀬戸内市の長島愛生園に研修視察に行きました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった視察をやっということができました。

バスの車中でDVD「家族で考えるハンセン病」を視聴し、視察前の研修を行いました。長島愛生園到着後に、歴史館で学芸員さんからハンセン病問題と長島愛生園の歴史についての説明を聞き、実物展示を見学しました。その後、説明を聞きながら、収容棧橋や収容所、監房等を見学し、納骨堂で献花を行いました。実際に現場でハンセン病問題を学習することで、ハンセン病について正しく理解し、偏見や差別のない、すべての人の人権が尊重される社会を実現することへの思いを改めて強くすることができました。



参加者の感想

・愛生園での子どもが書いた手紙は、忘れることができません。関心を持ち、正しい知識を得て周りの人に伝えることで、差別や偏見のない社会になることを願いつつ、これからも取り組んでいきたいと思えます。

・偏見や差別に対して高いアンテナをはり「絶対許さない」という毅然とした態度でありたいと思いました。同じ間違いを繰り返さないためにも、自分にできることを考え、一つずつ実践していきたいです。

令和5年度

味野中学校区人権作品展 ポスター・標語の部

11/28
(火)

12/10
(日)

味野中学校区の小・中学校の児童生徒の作品233点を展示して開催しました。期間中多くの方に見ていただき、子どもたちの思いを感じていただけたものと思います。

※次頁に掲載。

人権作品表彰式



12月2日(土)に、最優秀賞を受賞した味野中学校区4校の児童生徒の皆さんを迎えて、人権作品の表彰式を実施しました。賞状の授与後に、受賞した作文の発表も行いました。

作文の部 最優秀賞

- 味野小学校 第6学年 武田 羽空
「ぼくは優しい大人になりたい」
- 赤崎小学校 第6学年 石川 葵
「それぞれの個性」
- 本荘小学校 第3学年 太宰 琉歌
「家族のしょうかいをします」
- 味野中学校 第3学年 長尾 桃佳
「見えない恐怖」

ポスターの部 最優秀賞



味野中学校3年 山下 心々奈



味野小学校5年 黒明 柚花



赤崎小学校5年 古市 うの

伝え合おう！
作品からの
メッセージ!!



本荘小学校6年 松井 心奈

標語の部 最優秀賞

味野小学校2年 びわ あすさ

「すごいね」
「どうぞだね」
いっぱいつかおう
うれしいことば

赤崎小学校6年 藤井 奈央

人の輪に
限りはないさ
皆いつしょ

本荘小学校2年 ふる川みなみ

友だちと
なかよくあそぶと
いいことあるよ
たのしいな

味野中学校3年 山田 隼

考えよう
相手の立場に
なってみて